

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年7月19日(火) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

### 発表事項

1. 西岡昭博教授がプラスチック成形加工学会「平成27年度技術進歩賞」を受賞しました。
2. 『第2回アルファ化米粉レシंपコンテスト』説明会と調理実習の開催について
3. 山形大学の教育・研究活動紹介～新ブランドエダマメ品種の開発に向けて～
4. 2年目を迎えるヤマガタサイエンスアカデミー
5. 実証工房スマート未来ハウスの一般公開を開始します

### お知らせ

1. 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会村山地区協議会と山形大学地域教育文化学部が協定を締結します
2. 女性研究者裾野拡大セミナー2016in農学部  
「農学部女子！研究者になる!!～それってどんな？何するの？～」を開催します
3. ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
高校生対象プログラム『生物の多様性を考える。』を開催します
4. 地域定住農業者育成講座「食と農のビジネス塾」の受講者を募集しています
5. 山形大学附属博物館・最上義光歴史館連携展「山形の記憶」を開催しています
6. 「山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラム」短期受入れ研修を実施します

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成28年8月2日(火)11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

## 学長定例記者会見(7月19日)発表者

1. 西岡昭博教授がプラスチック成形加工学会「平成 27 年度技術進歩賞」を受賞しました。

学術研究院 教授(機能高分子工学) にしおか あきひろ  
西岡 昭博

2. 『第2回アルファ化米粉レシピコンテスト』説明会と調理実習の開催について

学術研究院 教授(機能高分子工学) にしおか あきひろ  
西岡 昭博

学術研究院 准教授(機能高分子工学) こうだ ともり  
香田 智則

大学院有機材料システム研究科博士前期課程 1 年 やの ひろこ  
矢野 裕子

3. 山形大学の教育・研究活動紹介～新ブランドエダマメ品種の開発に向けて～

学術研究院 准教授(植物遺伝・育種学) ほしの ともき  
星野 友紀

大学院農学研究科 1 年 かわかみ たまえ  
川上 珠恵

農学部 4 年 いじま のぶしげ  
飯島 信繁

// はた まさかず  
畑 昌和

4. 2年目を迎えるヤマガタサイエンスアカデミー

学術研究院 教授(理学部担当) くりやま やすなお  
栗山 恭直

5. 実証工房スマート未来ハウスの一般公開を開始します

学術研究院 教授(有機材料システム研究推進本部) さの たけし  
佐野 健志



平成28年7月19日  
山形大学

## 西岡昭博教授が

プラスチック成形加工学会「平成27年度技術進歩賞」を受賞しました。

西岡昭博教授に一般社団法人プラスチック成形加工学会より「平成27年度技術進歩賞」が授与されました。（受賞題目：成形加工性に優れたバイオマス/ポリオレフィン複合材加工技術）本賞は、将来性が大きく期待されるプラスチック関連の技術に対して厳正なる審査の上で授与されるものです。なお本賞は（株）コバヤシ、宮城県産業技術総合センターとの共同による受賞です。

### ◆受賞規定

一般社団法人プラスチック成形加工学会（正会員数1354名 平成27年3月31日現在）が、プラスチック成形加工分野の技術の進歩を促すことを狙いとし、本分野の進歩に貢献するきらりと光る独創性の高い技術を将来性に対する期待とともに表彰し、さらなる進歩を奨励するため本賞を授与するものです。

### ◆受賞対象となった技術について

本技術から開発された材料はデンプンを主原料として作られており、枯渇資源である石油を大幅に節約できるものです。紙製の容器と違って、耐水性に優れる特長もあります。また、プラスチック同様の加工性を持つため、形状自由度が高く、デザイン性にも優れております。すでに共同開発先である（株）コバヤシより、でんぷん樹脂「レジームST<sup>®</sup>」の商品名で上市されています。



### ◆本技術の採用例と特徴

今回受賞対象となりました技術によって開発された新素材「レジームST<sup>®</sup>」を用いて製造した容器が、昨年イタリア・ミラノで開催された「ミラノ国際博覧会」日本館の東北出展期間中の試食料理の提供用容器として使用されました。さらに、石屋製菓の北海道銘菓である「白い恋人」や越後製菓（株）の鏡餅の容器にも採用されています。この材料から作成されたパッケージは独特の風合いがあり、紙のように丸めて廃棄することも可能です。今後、環境に優しい材料として様々な用途への採用が期待されています。

#### （お問合せ先）

山形大学 学術研究院  
教授 西岡昭博

（機能高分子工学）

電話：0238-26-3207

（一般社団法人）

# プラスチック成形加工学会

## 『技術進歩賞』

【受賞題目】

「成形加工性に優れた

バイオマス/ポリオレフィン複合材加工技術」

～でんぶんが主原料の新素材「レジームST<sup>®</sup>」の開発～

説明者：西岡昭博

（山形大学大学院有機材料システム研究科・教授）

本成果は、山形大学先進的研究拠点形成支援（YU-COE）の活動の中で得られたものです。  
また、本研究は国際事業化研究センターの公募型研究プロジェクトにより実施しました。

# でんぷんが主原料の新素材 「レジームST®」

## 地球にもひとにもやさしい生分解性材料



レジームST®を用いた加工例  
(ミラノ万博で採用)

### 開発品の主な特徴

- ▷ でんぷんを最大60%配合した複合材料

でんぷん  
(60~30%)

+ プラスチック  
(40~70%)

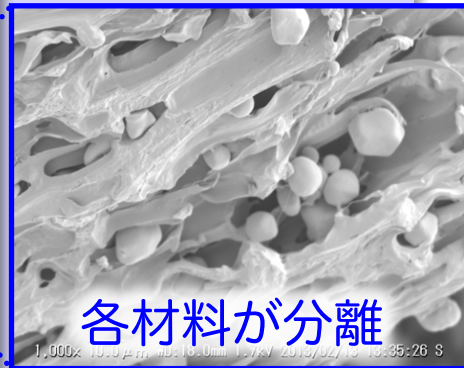
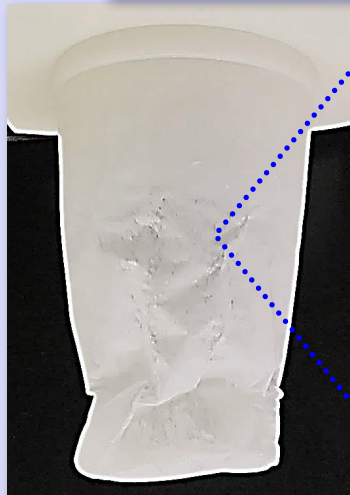
- ▷ 耐水性に優れている。
- ▷ プラスチックと同様の高い成形加工性

	レジームST® (開発品)	既存品A	既存品B	既存品C
主原材料 (由来) 製法	澱粉 (とうもろこし)	バイオEt (サトウキビ)	グルコース (とうもろこし)	化石資源
	天然	合成	合成	合成
生分解性	あり (部分)	なし	あり	あり
耐熱性	○ (120℃)	○	× (60℃)	△ (100℃)
耐衝撃性	○	○	×	○

※参考資料：(株)コバヤシHP掲載データ

# でんぷん複合材料なのに プラスチックのように成形加工出来る！！

従来のでんぷん複合材料  
(でんぷん50wt%添加)



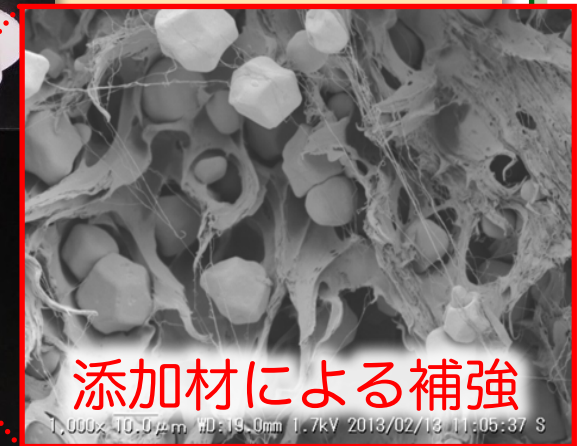
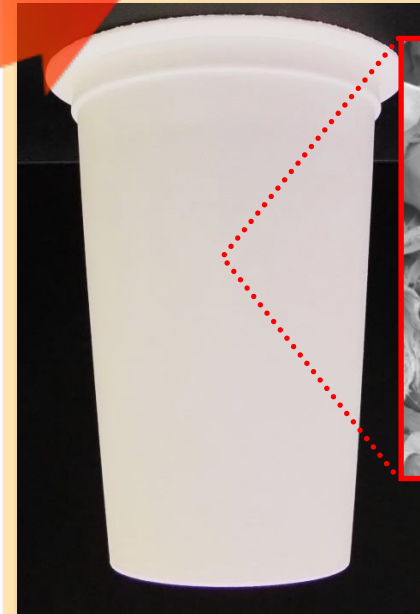
でんぷんを多く含む材料であるため  
偏肉や破れなどの成形不良が発生



成形不可

独自の  
物性改質

新素材『レジームST®』  
(でんぷん50wt%添加)



添加材による物性改質で  
成形不良を大きく改善

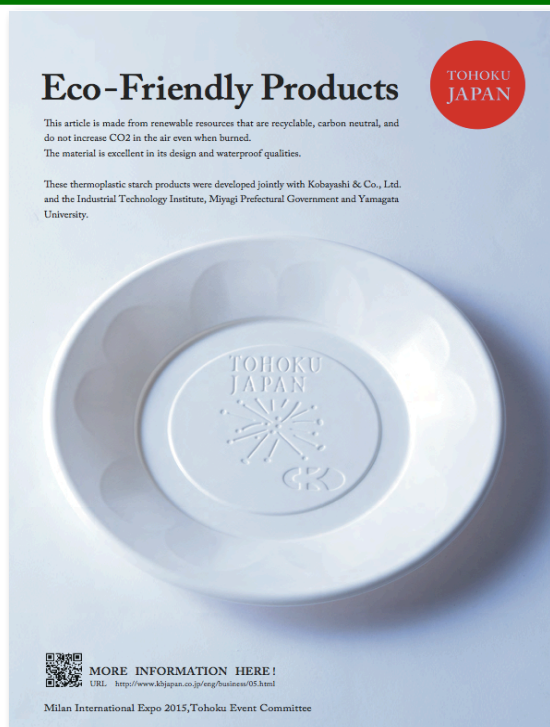
プラスチック材料のように  
薄物や深絞りなどの高度な成形加工を実現



成形可



# レジームST<sup>®</sup>の採用例



「ミラノ国際博覧会」日本館の  
試食料理の提供用食器として  
採用されました。

東北復興の象徴として本技術を世界に発信しました。

出展期間：平成27年7月24日（金）～27日（月）

出展場所：ミラノ国際博覧会 日本館

テーマ：東北×イタリア 食と文化のマリアージュ



試食の様子



料理の盛り付けの様子



提供された料理

# レジームST<sup>®</sup>の採用例

すでに各社の食品包装材料に採用されています。



鏡餅の包装材料  
(越後製菓)



菓子用包装材料  
(白い恋人など)

**ポイント：でんぷん特有の質感、廃棄時のつぶしやすさ**



(一般社団法人)  
**プラスチック成形加工学会**  
**「平成27年度 技術進歩賞」 受賞**

(山形大西岡、株式会社コバヤシ、宮城県産業技術総合センターとの共同受賞)



『技術進歩賞』

一般社団法人プラスチック成形加工学会(会員数1354名 平成27年3月31日現在)が、プラスチック成形加工分野の技術の進歩を促すことを狙いとし、本分野の進歩に貢献するきらりと光る独創性の高い技術を将来性に対する期待とともに表彰し、さらなる進歩を奨励するため本賞を授与するものです。

# お問い合わせ先

---

山形大学 学術研究院  
(大学院 有機材料システム研究科)

教授 西岡 昭博

電話 & FAX : 0238-26-3207

電子メール : [nishioka@yz.yamagata-u.ac.jp](mailto:nishioka@yz.yamagata-u.ac.jp)



平成28年7月19日

山形大学

## 『第2回アルファ化米粉レシピコンテスト』 説明会と調理実習の開催について

山形大学の工学部と地域教育文化学部ではアルファ化米粉の研究開発を進めています。アルファ化米粉は水を加えるだけでお粥状になり、炊飯しなくても食べることができる特殊なものです。また、アルファ化米粉を水に加えた際の増粘効果を利用すると、小麦粉を使わなくてもパン、シュークリーム、クッキーなどを調理することができます。アルファ化米粉の研究は、小麦粉アレルギーに対応する食品開発や、介護用食品への応用で注目を集めています。

本コンテストは、「あなたも米粉料理で大発明」というキャッチフレーズのもとで昨年度から開催しており、今年度は第2回目となります。アルファ化米粉の存在を広く知っていただき、その特徴を生かしたレシピ開発を通して、科学の面白さ、発明の楽しさを参加者に発見していただくための催しです。

### ◆本催しの概要

アルファ化米粉レシピコンテストへの応募に先立ち、アルファ化米粉の特徴とレシピへの活用方法を知っていただくために、米粉パンの調理実習を含む説明会を開催します。説明会への参加申込方法はチラシ・ポスターをご覧ください。

行事名：第2回アルファ化米粉レシピコンテスト

主催：山形大学YU-COE（先端フードテクノロジー研究開発センター（AFTEC））

山形大学工学部、山形県立米沢栄養大学

共催：山形大学国際事業化研究センター

後援：山形県教育委員会

日時：説明会と調理実習 平成28年10月15日（土）

コンテスト本選 平成28年12月10日（土）

会場：山形県立米沢栄養大学（山形県米沢市通町6-15-1）

参加資格：高校生以上

レシピ応募期間：平成28年10月17日（月）～11月18日（金）

レシピの応募方法とコンテスト本選の詳細は追って公表いたします。

### （お問合せ先）

山形大学 学術研究院

教授 西岡昭博（機能高分子工学）

電話：0238-26-3207

あなたも米粉料理で大発明！

# 第2回 アルファ化米粉レシピコンテスト

～説明会&調理実習のお知らせ～

山形大学ではアルファ化米粉の研究をしています。アルファ化米粉は、水を加えるだけでお粥になる不思議な米粉で、アルファ化米粉を使うと、米粉パンが簡単に作れちゃいます。昨年に引き続き、そんな不思議なアルファ化米粉を使った「第2回アルファ化米粉レシピコンテスト」を開催いたします。このコンテストは2部構成になっており、①コンテストの説明会・アルファ化米粉を用いた調理実習(平成28年10月15日(土))と②アルファ化米粉レシピコンテスト本選(平成28年12月10日(土))が、どちらも山形県立米沢栄養大学にて開催されます。まずはレシピコンテスト本選に先立ち、10月15日(土)に「①コンテストの説明会・アルファ化米粉を用いた調理実習」を開催いたします。参加希望の方は下記の **申込方法** に従いご応募ください。なお、12月10日(土)に開催予定の「アルファ化米粉レシピコンテスト本選」へのレシピの応募方法はポスター、チラシなどで後日周知いたします。アルファ化米粉を使ったオリジナリティあふれるレシピをたくさんご応募頂くことをお待ち申し上げます。 目指せ！米粉料理で大発明！！

日 時	平成28年10月15日(土) 13:00～16:30
場 所	山形県立米沢栄養大学
内 容	説明会&調理実習
参加費	無 料
参加資格	高校生以上
持ち物	筆記用具、エフロン、三角巾

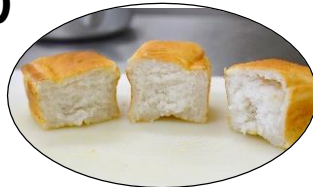
※注意 当日は靴下着用をお願いします(裸足厳禁)。

## 説 明 会

特別な米粉「アルファ化米粉」について

■時刻 13:00～14:00

■会場 D303 教室



## 調 理 実 習

米粉パンの作り方など

■時刻 14:15～16:30

■会場 調理実習室



### 申込方法

参加希望の方は下記のEメールアドレスに所属、氏名、連絡先をご記入の上ご連絡下さい。  
質問、相談などもお気軽にどうぞ♪

窓 口: 角田 昌宏 (山形大学大学院有機材料システム研究科 博士前期課程1年)

E-mail: [tar31991@st.yamagata-u.ac.jp](mailto:tar31991@st.yamagata-u.ac.jp)

定員 40 名にない次第締め切りますので、お早めに応募して下さい。

主催: 先端フードテクノロジー研究開発拠点(AFTEC)、山形大学工学部、山形県立米沢栄養大学

共催: 山形大学国際事業化研究センター 後援: 山形県教育委員会



平成28年7月19日  
山形大学

## 山形大学の教育・研究活動紹介 ～新ブランドエダマメ品種の開発に向けて～

「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を使命とする山形大学の“旬な教育研究”を紹介いたします。今回は学術研究院（植物遺伝・育種学）の星野友紀准教授の新ブランドエダマメ品種の開発に向けた研究です。この研究では、山形県の強みであるエダマメ栽培に着目し、その生産量を日本一にすることを最終目標に、ゲノムDNA情報を高度に利用して、新品種のエダマメ開発に取り組んでいます。

### 1 第15回インテリジェント・コスモス奨励賞を受賞

公益財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団では、東北地域の活性化、発展に寄与するような研究に取り組んでいる若手研究者に対してインテリジェント・コスモス奨励賞を授与しています。この度、星野友紀准教授の「日本一の産地化を目指した新ブランドエダマメ品種の開発」に関する研究が、第15回インテリジェント・コスモス奨励賞に選ばれました。

### 2 研究背景 ～山形県の強みであるエダマメ栽培に着目～

山形県は、県内各産地において、高品質なブランドエダマメを生産しています。しかし、山形県産のエダマメには、県産ブランド米である「つや姫」に代表されるようなオール山形として統一された品種は存在せず、さらに各品種の出荷時期が限定されており、持続的な安定栽培・出荷ができていません。そこで本研究では、山形県のエダマメ生産量を日本一にし、TPP導入を控えて疲弊する地域社会に活力を与えるべく、良食味で高品質なエダマメのリレー出荷が可能となる、新規なブランドエダマメ品種を開発します。

### 3 品種改良の方法 ～ゲノムDNA情報を使って改良効率UP!～

農作物の品種改良というと、長い年月を要する農作業を想像されると思います。もちろん農作業も必要ですが、近年、農作物の遺伝情報を司るゲノムDNAの塩基配列が解読され、品種改良技術は爆発的に進歩し効率化されようとしています。本研究では、偶然の産物を選抜する従来からの消極的な改良法だけに頼らず、本研究で新規に作出する突然変異集団と公開されたゲノム情報を高度に利用して、積極的に「新たな作物を創造する」ことを目指しています。

(お問合せ先)

学術研究院 准教授（植物遺伝・育種学）星野友紀

電話：0235-28-2965

Mail: thoshino@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp





文部科学省

文部科学省  
地(知)の拠点整備事業



# 日本一の産地化を目指した 新ブランドエダマメ品種の開発

学術研究院	准教授（植物遺伝・育種学）	星野友紀
農学研究科	生物資源学専攻 1年	川上珠恵
農学部	食料生命環境学科	
	植物機能開発学コース 4年	飯島信繁・畑昌和

# 山形県はエダマメの産地！

## 産地別エダマメ入荷量と販売単価（H26:東京都中央卸売市場）

H26	1位	2位	3位	4位	5位	6位
数量 (t)	<b>群馬</b> 1,787	秋田 1,290	<b>山形</b> 721	千葉 697	埼玉 426	新潟 320
平均価格 (円)	<b>群馬</b> 833	<b>山形</b> 820	千葉 748	埼玉 660	新潟 640	秋田 543

JA鶴岡  
だだちゃ豆



JAおきたま  
上杉豆

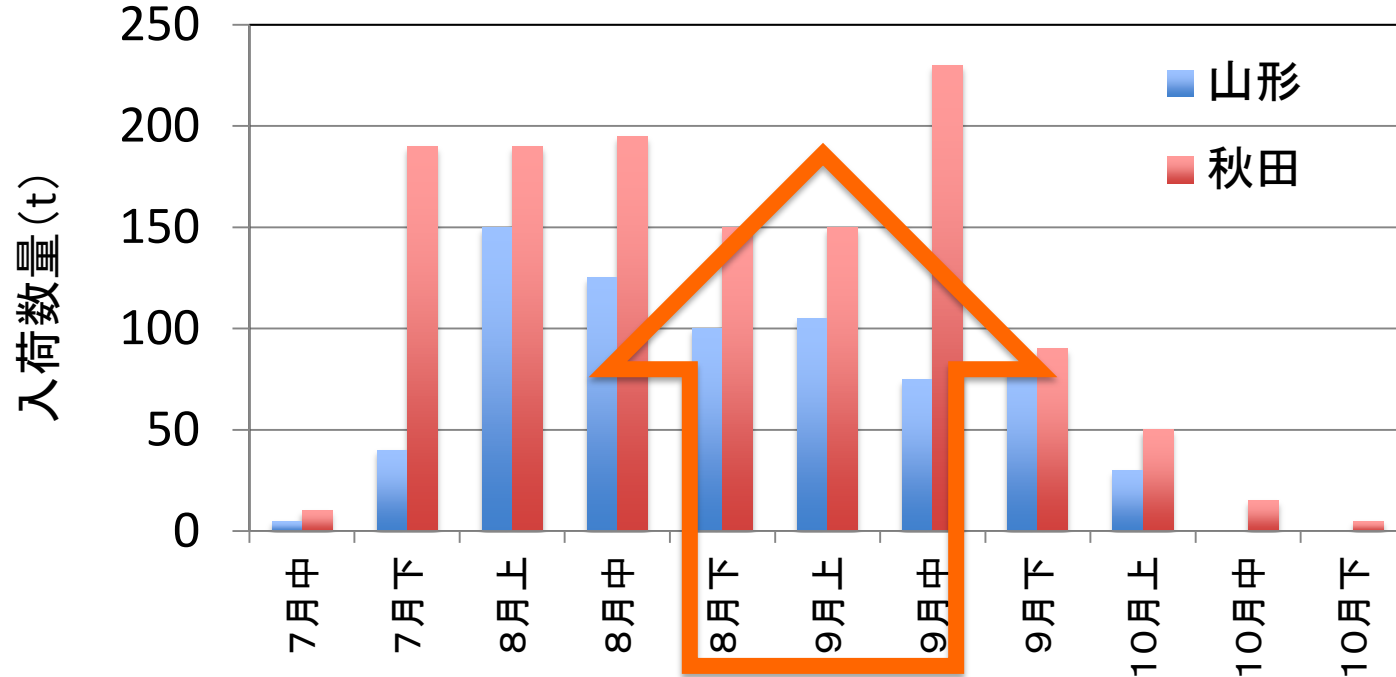


JAさがえ  
ハッピー豆



# 新エダマメ品種開発の背景

山形県と秋田県のエダマメ旬別入荷量 (H26:東京都中央卸売市場)



改良するポイントは？

研究のゴール

開花期の改良による  
出荷期の継続

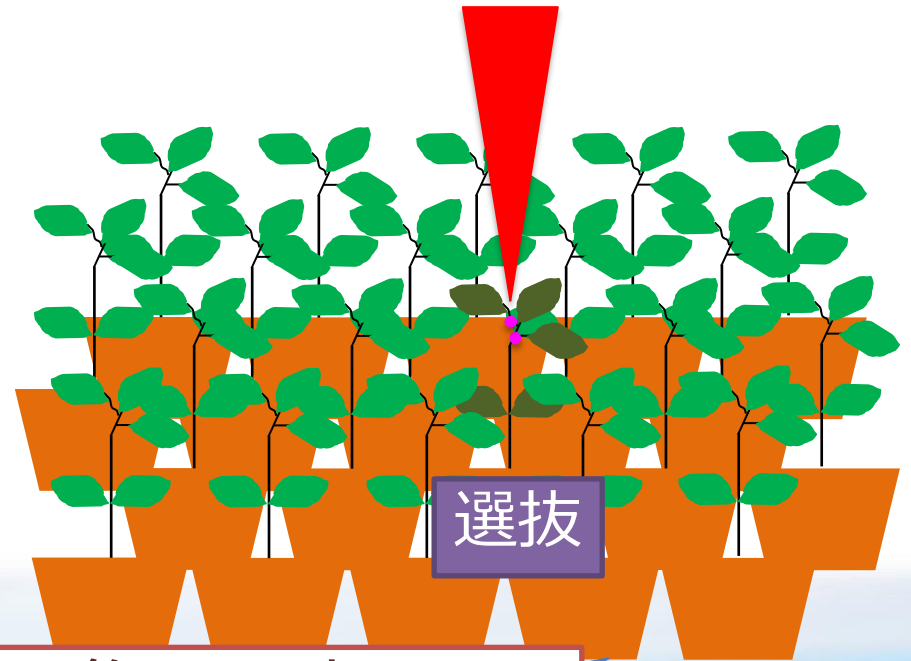
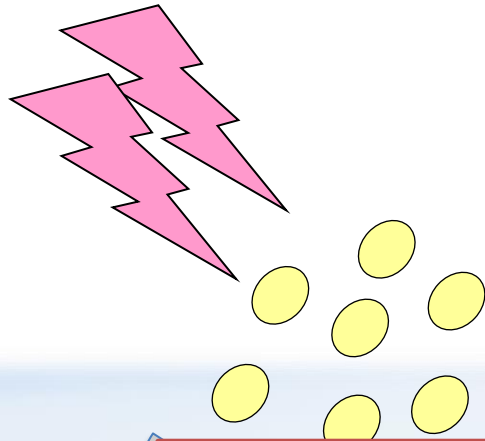


山形県を日本一の  
エダマメ生産地とする

おいしい山形

従来の品種改良法は？：突然変異育種法

EMS



「秘伝」突然変異集団の中から  
早く花が咲く変異体を見つける！  
必要なのは、**努力と根性！**？

大規模な突然変異集団の栽培



本研究の特徴は？：DNAレベルで変異体を単離すれば効率UP！



突然変異集団



突然変異集団  
のDNA

DNAレベルで変異を見つけ出す！



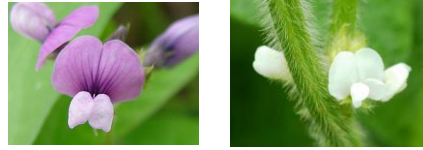
# 山形印の新エダマメ品種の創造！

表現型から変異体単離

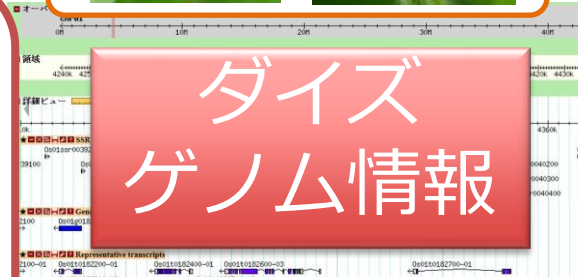
秘伝突然変異  
集団の栽培



開花期調査



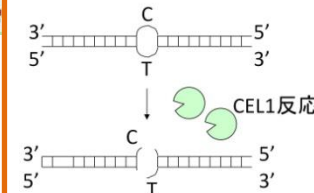
ダイズ  
ゲノム情報



開花期制御遺伝子



変異  
解析



遺伝子から変異体単離

改良するポイントは？

研究のゴール

開花期の改良による  
出荷期の継続



山形県を日本一の  
エダマメ生産地とする





# 栽培や研究の様子：山形県と共同研究



圃場でのエダマメ栽培や収穫、実験室でのDNA実験、さらに、山形県との研究の打ち合わせも学生が主体的に取り組んでいます。



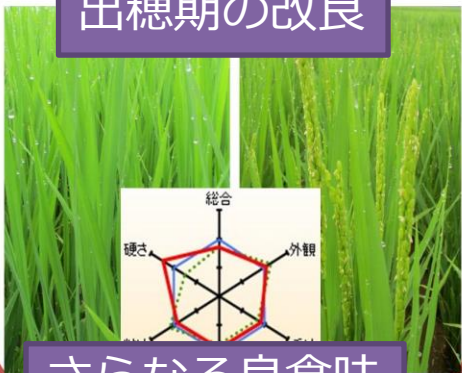
# イネでの先行研究

# ポストつや姫の創造

従来式  
↕  
本研究

遺伝学的アプローチ

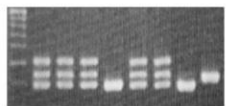
有用農業形質  
出穂期の改良



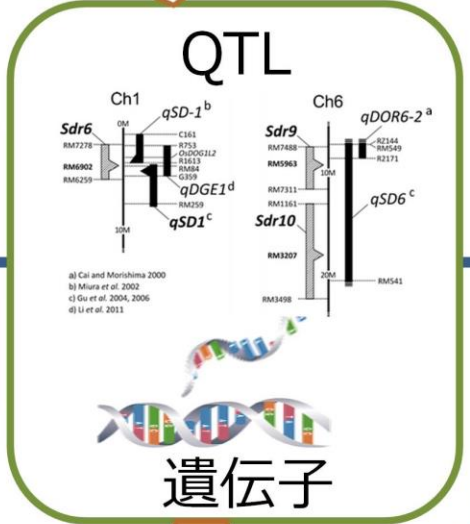
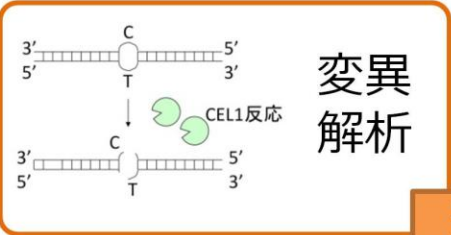
さらなる良食味

有用アリル選抜→評価  
期間：3年！

DNAマーカー



遺伝解析→利用：10年



逆遺伝学的アプローチ

形質のカスタマイズ改良

広域適応性  
高品質適応性  
の付与

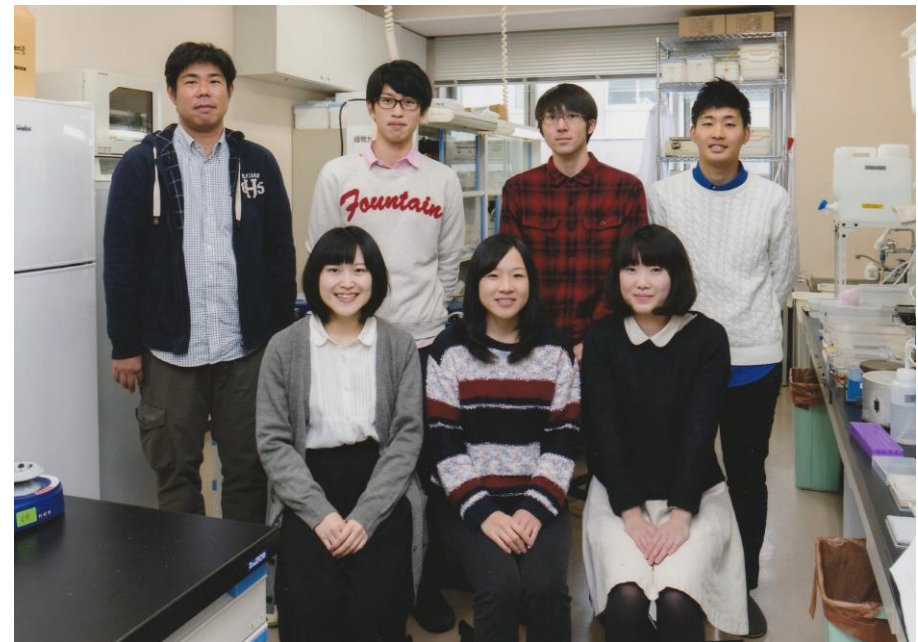
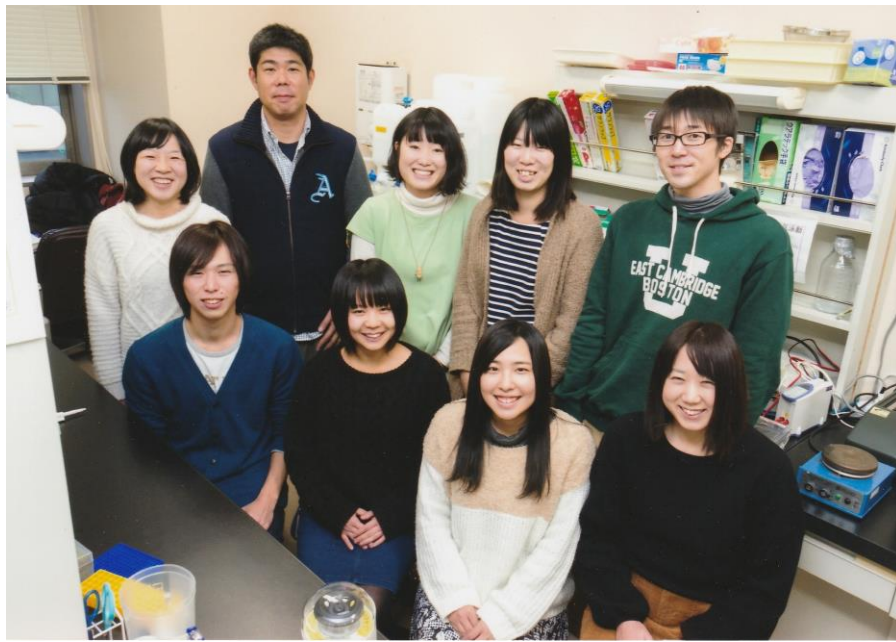


ブランド力向上  
生産力強化



研究のゴール

地方発  
農業生産改革！



山形大学農学部食料生命環境学科 植物機能開発学コース 星野研究室のメンバー



インテリジェント・コスモス奨励賞

### 【謝辞】

本研究は、山形県と共同で研究を行っています。  
本研究の一部は、

公益財団法人不二たん白質研究振興財団  
公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団  
公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団  
公益財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団  
公益財団法人戸部眞紀財団

の助成により、研究を遂行しています。

平成28年7月19日  
山形大学

## 2年目を迎えるヤマガタサイエンスアカデミー

ヤマガタサイエンスアカデミーでは、山形大学と連携機関が理数系分野に卓越した県内の中学生を選抜し、科学を基盤とする未来を担う人材育成プログラムを開発しています。2年目を迎え、2期生20名が決まりました。1年間の講座を通して研究の進め方、実験の進め方、記録の取り方などを学びます。

### 1) 1期生の活動

エネルギー講座・粘菌講座の受講、科学の甲子園ジュニアの県大会、代表の強化研修会への参加、加茂水族館での見学会を通じて研究の進め方、実験の進め方、記録の取り方などを学びました。その経験を生かし、昨年度末に今年度の実験計画を立て、それに基づき、個人で研究を行っています。大学院生がインターネットを介して指導を行っており、夏休み明けに報告会や各種科学賞への応募を行います。また、12月に高校生と一緒に山形県高等学校サイエンスフォーラムでその成果を発表します。

平成 27年度	7月	開校式・基本講座（プレシンポジウム）
	8月	エネルギー講座（2回実施）、夏休み自由研究のサポート
	10月	科学の甲子園ジュニア県予選、科学の甲子園ジュニア強化研修会、生物講座
	12月	山形県高等学校サイエンスフォーラム
	1月	加茂水族館における実習
	2月	課題構想プレゼンテーション

### 2) 2期生の活動

昨年度と同じ内容の講座を実施します。今年度は遠方から参加する受講生もいるため、講座の回数を減らし、その分一回の講座を濃いものにし、一日の時間を昨年度より多くする予定です。7月23日（土）に開校式とエネルギー講座を行います。

今後、HP等で講座の開講予定日およびその報告等を掲載していきます。

<http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/ysa/>

※ ヤマガタサイエンスアカデミー：平成27年度から山形大学と山形県教育委員会が中心となり、県内の科学系機関と連携して中学生を対象に理系人材の育成プログラム「山形県サイエンスエリート養成プログラム（ヤマガタサイエンスアカデミー）」を開発しています。

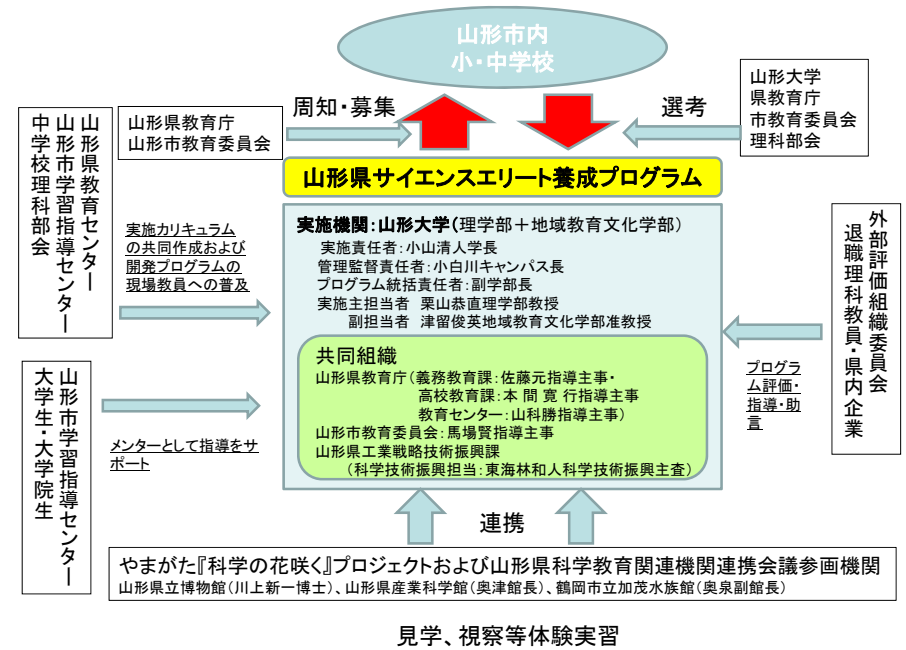
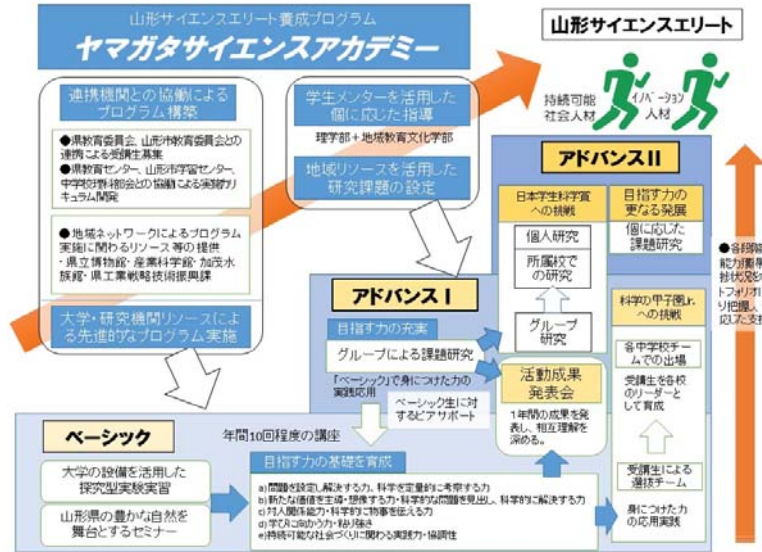
※ 実施機関：山形大学（理学部・地域教育文化学部）・山形県教育委員会（義務教育課・高校教育課）  
・山形県商工労働観光部工業戦略振興課・山形県教育センター・山形市教育委員会・山形県立博物館・山形県産業科学館・鶴岡市立加茂水族館

（お問合せ先）

学術研究院 教授（理学部担当） 栗山恭直  
電話 023-628-4506（SCITAセンター）



# 教育プログラムの全体像と取組内容



## 参加者の内訳

申込 46名		選考 37名		合格 18名	
小学生31	中学生15	小学生26	中学生11	小学生 7	中学生11
市内 26	市内 9	市内 21	市内 6	市内 5	市内 6
附属 4	附属 4	附属 4	附属 4	附属 1	附属 4
市外 (高島) 1	市外 (米沢・楯岡) 2	市外 1	市外 1	市外 1	市外 1

申込 36名		選考 35名		合格 20名	
小学生32	中学生 4	小学生 32	中学生 4	小学生 17	中学生 3
市内 17	市内 3	市内 16	市内 3	市内 8	市内 2
附属 8	附属 1	附属 8	附属 1	附属 6	附属 1
市外 5		市外 5		市外 3	

ヤマガタサイエンスアカデミーで、どのようなことを経験したり、学んだりしたいですか。

データをまとめたり数値を求めたりしたい。  
凍らない液体を見てみたい。  
テレビの画面に映っている青赤緑  
エネルギーについて興味があるので、いろいろな実験をしてその結果からわかることをまとめ、理科の知識を広げいろいろなことに役立てていきたいです。  
会場の雰囲気になれること、実験方法を学ぶこと。  
気体の重さ、エンジンの構造  
なぜ電気は金属を通るのか？  
いろいろわからないことをやってみよう。  
何かを混ぜたりしていろいろなものを作る。  
アルコールランプの実験をしてみたい。  
動物、昆虫のからだのしくみ。世の中のエネルギー

楽しく面白い実験や「えっ？なんでそうなるの？」ということを実験して、自分自身で「わかった！、なるほど～！そうだったのか！」とかんじたいです。

学校の理科の授業ではやらない(化学反応や静電気などの実験)を経験してみたり、その実験に対する他の人の考察を聞き、視野を広げたいです。

薬や成分を混ぜたり分解したりする実験をしてみたいです。

やったことのない実験をしたり、学んだりしたい。

エタノールやヨウ素液は、なぜ色を取れたり、デンプンと反応すると青紫になるのかなどという、学校の授業でもわからないことを学び知識を深めたいです。

実験で大学でやっていることを学んでみたいです。

## 2. 27年度の教育プログラムの全体像と取組内容

6月	受講生募集開始
7月	受講者選考(7/8) 開校式(7/20)・基本講座(プレシンポジウム)
8月	エネルギー講座・第1回(8/7) 9:30~12:00 SCITAセンター エネルギー講座・第2回(8/22) 9:30~12:00 SCITAセンター
10月	科学の甲子園ジュニア県予選(オープン参加)(10/4) 生物講座 9:00~12:00 県民の森・山形市少年自然の家(10/24)
11月	科学の甲子園ジュニア強化研修会11/3(オープン参加) 科学の甲子園ジュニア強化研修会11/14(オープン参加)
12月	山形県高校サイエンスフォーラム見学(高校生の研究発表会の見学)
1月	加茂水族館勉強会 クラゲ学習会とバックヤード見学
2月	構想発表会

## 4. 受講生の特性と意欲・能力の変容

### 1. どんな生徒が発掘できたのかー人材発掘の実績とエビデンス

小学生の応募が、32名と5倍を超える応募があり、その中から選抜した。採点の結果では、中学生よりも高得点を収める小学生もいた。

選抜された小学生は、日頃から理科センターでの実験教室に参加している。

運動が得意で、市内の水泳大会に参加する子もいる。

大学での実験の後に、自宅でも熱心に課題に取り組んでいる。

### 2. 受講生の意欲・能力をどれだけ伸ばすことができたかー人材育成の実績とエビデンス

熱心に課題に取り組んでいる。

I C Tを使っての自己紹介などを行い、互いに親密になった

山間部の児童が、積極的に発信している。(近くに同じ興味の子がいらない?)

家庭での会話に科学について話すようになった。(父兄談)

平成28年7月19日  
山形大学

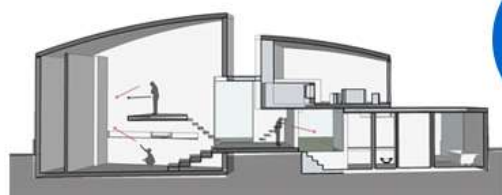
## 実証工房スマート未来ハウスの一般公開を開始します

昨年10月15日に開館した山形大学の近未来の住環境を実証研究する施設「スマート未来ハウス」の一般公開を7月22日より開始いたします。

コミュニケーションウォールの実証実験を行うリビングルーム、快適に眠るための有機EL照明の光の色、質、明るさの検証とともに、生体センサを内蔵したベッドを設置し、寝ている人の心拍数・呼吸数・体動などを組み合わせて実証研究を行う寝室、発電する窓など、20年後の快適で健康な暮らしを実現するための研究や最新技術を盛り込んだ生活空間の提案をご覧ください。

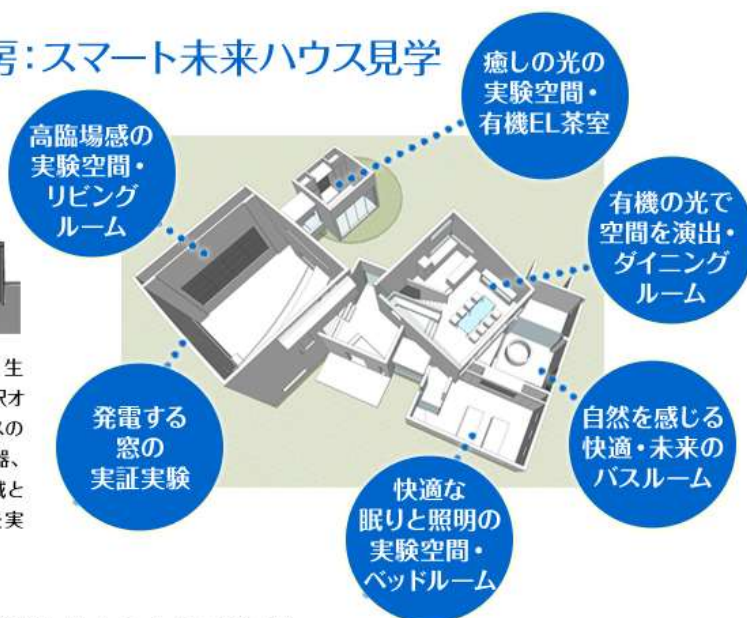
見学申込受付中

実証工房:スマート未来ハウス見学



開発した有機デバイスやシステムを実証し、20年後の家、生活、働き方を考える実験施設:「スマート未来ハウス」が米沢オフィス・アルカディアに完成しました。有機エレクトロニクスの専門家はもとより、照明、デザイン、建築、ICT、民生機器、人文社会系等、多様なプロフェッショナルが集まり、地域とも連携して、QOLを高める空間や、快適で健康な生活を実現するシステムの実証研究を行います。

- ・文部科学省、地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業
- ・文部科学省、科学技術振興機構、センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム
- ・山形県
- ・米沢市



- スマート未来ハウスの場所 山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター 向い 〒992-0119 山形県米沢市アルカディア1丁目808番48
- 実施予定日時 毎週金曜日の午後 (13:00～、14:00～、15:00～)
- 定員 各時間帯15名
- 申し込み方法 事前申し込みが必要です。詳しくはホームページをご覧ください。

[http://iomform.yz.yamagata-u.ac.jp/reservatiom\\_miho/register.cgi](http://iomform.yz.yamagata-u.ac.jp/reservatiom_miho/register.cgi)

※実証実験施設のため実験等の都合で一般公開を実施しない週もございますのでご了承ください。

(お問合せ先)

山形大学 COI研究推進機構 (担当: 佐野、窪)  
電話: 0238-26-3585



平成28年7月19日  
山形大学

\* 詳細は別添の資料をご覧ください。

## 1. 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会村山地区協議会と地域教育文化学部が協定を締結します

総合型地域スポーツクラブ連絡協議会村山地区協議会と地域教育文化学部は、互いに連携し、地域社会の振興と発展、人材育成に寄与することを目的とし、人材・知識・技能の相互交流を促進するための協定を締結いたします。

【協定調印式】日時：平成28年7月22日（金） 14時00分～

場所：山形大学地域教育文化学部1号館 2階大会議室

## 2. 女性研究者裾野拡大セミナー2016 in 農学部

### 「農学部女子！研究者になる！！～それってどんな？何するの？～」を開催します

女子高校生を対象に、農学部のオープンキャンパス開催に合わせて、「女性研究者」を具体的に考えるセミナーを開催します。

日時：平成28年7月31日（日）12:00～13:00

会場：山形大学農学部3号館202講義室

## 3. ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI

### 高校生対象プログラム『生物の多様性を考える。』を開催します

「現在、活躍している研究者と大学の最先端の研究成果の一端を高校生が見る、聞く、触れることで、学術と日常生活との関わりや、科学（学術）がもつ意味を理解してもらうプログラムです。

普段はめったに見ることができない大学の研究や研究者との対話などから科学の楽しさ、難しさ、不思議に触れて、科学に関心を持つことを目的とします。

日時：平成28年9月17日（土）9:00～15:15（受付8:30より）

会場：山形大学農学部3号館

対象：高校生/定員20名

参加費：無料

申込み：必要【9月2日（金）まで】

## 4. 地域定住農業者育成講座「食と農のビジネス塾」の受講者を募集しています

今年4月に設立した地域定住農業者育成コンソーシアムでは、「食と農のビジネス塾」を8月17日（水）から開講します。

対象：食・農でビジネスを行いたい方、さらにビジネスを発展させたい方、こうした方々を支援したい方、協力したい方

受講料：30,000円/年

締切：8月8日（月）必着（定員30名）

## 5. 山形大学附属博物館・最上義光歴史館連携展「山形の記憶」を開催しています

山形大学附属博物館が所蔵する資料を最上義光歴史館で公開しています。本展は制作・展示を博物館実習生が担当しており、これまで学んできたことをもとにして、貴重な資料の新たな魅力を引き出す展示を試みています。

期 日：平成28年7月9日（土）～平成28年9月11日（日）

会 場：最上義光歴史館（山形市大手町1-53（JR山形駅下車、徒歩15分））

## 6. 「山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラム」短期受入れ研修を実施します

平成27年度に文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に採択された『山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラム』では、ペルー、ボリビア、チリの主要大学と山形大学、米沢栄養大学、鶴岡工業高等専門学校との間で、人材育成プログラムを実施しています。

この度、7月25日（月）～8月7日（日）にかけて、ペルー、ボリビア、チリから計12人の留学生を受け入れ、短期研修を実施します。

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催がせまっているイベント

### ◎庄内スマート・テロワール戦略講演会

#### 農村消滅論からの大転換～地域食料自給圏を形成するために～

山形大学農学部では、カルビー株式会社相談役・松尾雅彦氏のご支援により平成28年4月に寄附講座「食料自給圏（スマート・テロワール）形成講座」を設置しました。この寄附講座では、地域内で食料自給圏をつくり、日本の里山の風景や文化を守りつつ、その農村や地域が地産地消の経済を発展させ、自立できるようなビジネスモデルを構築することを目指しています。庄内地域での新しい農村社会の構築に向けて、地域の皆さまと一緒に考える機会とするため、戦略講演会を実施します。

日時：平成28年7月21日（木）13：30～

会場：東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間（鶴岡市錦町2-10）

平成28年7月19日  
山形大学

## 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会村山地区協議会と 山形大学地域教育文化学部が協定を締結

「総合型地域スポーツクラブ連絡協議会村山地区協議会」と「山形大学地域教育文化学部」は連携協定を締結いたします。

この度、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会村山地区協議会と山形大学地域教育文化学部は、互いに連携し、地域社会の振興と発展、人材育成に寄与することを目的とし、人材・知識・技能の相互交流を促進するための協定を締結いたします。スポーツの効果的な指導法に関する資料の提供、その在り方に関する情報交換、生涯スポーツ推進のための計画づくり、学生の協力活動等を通して、村山地区のスポーツクラブの皆様と本学教員及び学生の交流を促進させ、県民のスポーツ振興、地域コミュニティの発展に寄与できる連携を図ります。

本協定の協定書調印式を次のとおり執り行いますので、お知らせします。

【総合型地域スポーツクラブ連絡協議会村山地区協議会と山形大学地域教育文化学部の協定調印式のお知らせ】

日時：平成28年7月22日(金) 14時00分～

場所：山形大学地域教育文化学部1号館 2階大会議室

(山形市小白川町一丁目4-12)

協定調印：総合型地域スポーツクラブ連絡協議会村山地区協議会

会長 鈴木 朝夫

副会長 清水 惣一

事務局長 片桐 賢一

山形大学地域教育文化学部

学部長 出口 毅

副学部長 小川 雅子

副学部長 三上 英司

教授 鈴木 和弘

(お問合せ先)  
地域教育文化学部事務室(総務)  
023-628-4304

# 農学部女子！研究者になる！！

～それってどんな？何するの？～

高校生の皆さんの中で、「農学部に入って将来研究者になりたい！」そんな思いをひそかに抱いている学生さんいるのではないのでしょうか。ですが、「研究者」とは漠然としていて、将来像を描くのは難しい、ましてや女性であればその将来像を描く上で、結婚・出産、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)など、現在実感のないこともいづれ考えなければならない場面に直面します。そこで、このセミナーでは農学部卒業の女性研究者の情報や、農学部女性教員のワークライフバランス事例や研究紹介をとおして、「女性研究者」を具体的に考えます。昼食を取りながら、農学部教員や学生と、気軽に情報交換してみませんか。是非、お立ち寄りください。

日時：平成28年7月31日(日) 12:00～13:00

◆オープンキャンパス 同日開催 ◆

場所：山形大学農学部 3号館202講義室

参加費 **無料**

対象：女子高校生

その1 農学部女子卒業生の最近の就職状況と研究職における職務内容

農学部教員 藤井 弘志 先生

その2 研究を職業としている農学部女子卒業生の職業紹介

山形県農業総合研究センター水田農業試験場  
研究員 渡部 貴美子 氏

その3 農学部女性教員の研究者としての歩み

農学部教員 森 静香 先生

※予約制で、“お弁当”と“お飲み物”を ご用意いたします。(無料)

※【別紙】の 参加申込書 に記入後、切り取りのうえ、

“7月19日(火)”までに「FAX」または「メール」でお申込みください。

共催：山形大学農学部、山形大学男女共同参画推進室

本企画は、平成28年度山形大学女性研究者裾野拡大セミナー事業から支援を受けて実施しています。

お問い合わせ先

TEL:0235-28-2807 FAX:0235-28-2812 E-MAIL:nosyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学農学部総務担当 まで





**参加費 無料**

【別紙】

女性研究者裾野拡大セミナー2016 in 農学部

# 農学部女子！研究者になる！！

～それってどんな？何するの？～

日時：平成 28 年 **7 月 31 日** (日) 12:00～13:00

場所：山形大学農学部 3号館202講義室

## アクセス



## お問い合わせ・申込先

申込締切：7月19日(火)

TEL:0235-28-2807 FAX:0235-28-2812 E-MAIL:nosyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学農学部総務担当 永井

\*FAXあるいはメールでお申込み下さい。

なお、記入いただいた個人情報は本セミナー実施にのみ利用します。

-----  
切り取り線  
-----

## 参加申込書

高校名：  
\_\_\_\_\_

フリガナ 氏名	学年	電話番号	E-MAILアドレス

平成28年7月19日  
山形大学

## ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI 高校生対象プログラム 『生物の多様性を考える。』

現在、活躍している研究者と大学の最先端の研究成果の一端を高校生が見る、聞く、触れることで、学術と日常生活との関わりや、科学（学術）がもつ意味を理解してもらうプログラムです。

普段はめったに見ることができない大学の研究や研究者との対話などから科学の楽しさ、難しさ、不思議に触れて、科学に関心を持つことを目的とします。

生物の進化や生物圏における生命の維持のためには、生物の多様性がとても重要です。なぜなら、生物（微生物、植物、動物）は、個々に生きているわけではなく、他の生物種とともに生存競争のもとで相互依存的に生息しているからです。そこで本プログラムでは、最初の土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用についてインドネシアと日本で実施した研究成果を紹介し、そして、土壌微生物や昆虫の観察、植物の分析などの実験を通して、農学の面白さを皆さんに伝えます。

★日時：平成28年9月17日（土）9：00～15：15（受付8：30より）

★会場：山形大学農学部3号館

★対象：高校生/定員20名

★参加費：無料（昼食付）

★申込み：必要【9月2日（金）まで】

1. メールでのお申込み [nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)  
氏名（フリガナ）・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス・高校名・学年・年齢・性別・保護者の同意の有無・付き添いの見学の有無をご連絡下さい。
2. 日本学術振興会ホームページの申込画面からお申込み  
<https://cp11.smp.ne.jp/gakujutu/seminar>
3. FAXでの申込 FAX: 0235-28-2836  
チラシ裏面の申込書に必要事項を記入しFAXしてください。  
農学部ホームページより申込書を印刷できます  
<http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/saiji/hirameki%202016.htm>

（お問合せ先）  
山形大学農学部企画広報室  
〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23  
電話 0235-28-2911 FAX 0235-28-2836  
メールアドレス [nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)



# 土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用

# 生物の多様性を考える。

● 期日 **2016.9/17 Sat**  
9:00～15:15(受付は8:30より開始)

- 会場 山形大学農学部3号館
- 対象 高校生／定員20名
- 参加費 無料(昼食付)
- 申込締切日 2016.9.2(金)
- 参加ご希望の方は9月2日(金)まで、E-mail、FAX、電話で下記お問い合わせ・お申込み先までお申込みください。

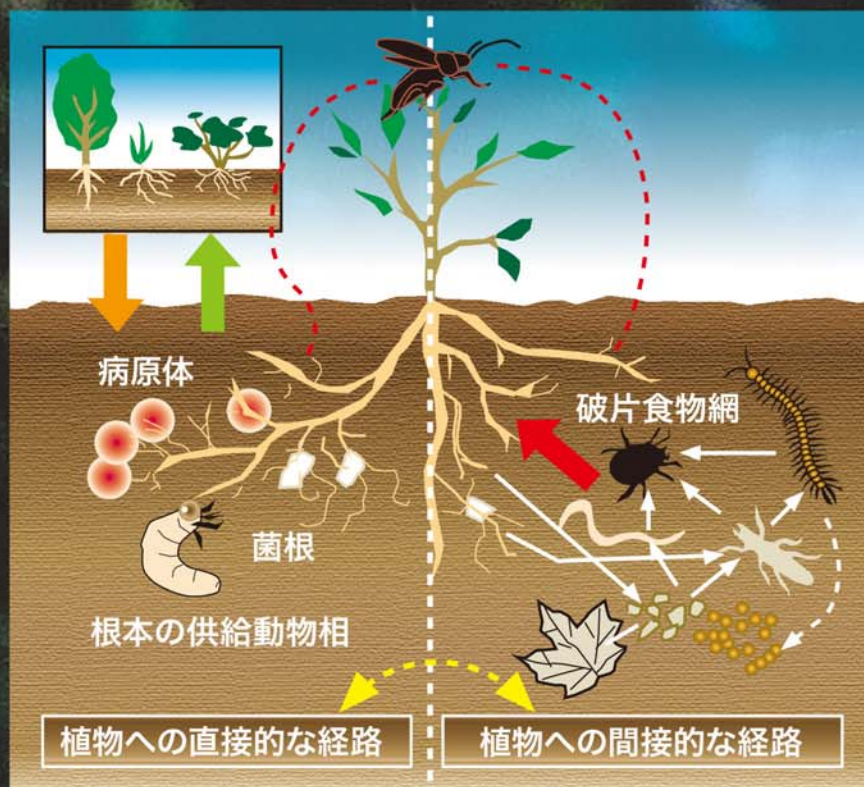
生物の進化や生命の維持のためには、生物の多様性が重要です。なぜなら、生物は、個々に生きているわけではなく、他の生物種とともに生存競争のもとで相互依存的に生息しているからです。そこで本プログラムでは、最初に土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用についてインドネシアと日本で実施した研究成果を紹介します。そして、土壌微生物や昆虫の観察、植物の分析などの実験を通して、農学の面白さを皆さんに伝えます。

## 未来博士号が授与される高校生対象特別プログラム

- 講師／安田弘法教授  
西澤隆教授／俵谷圭太郎教授  
村山秀樹教授／佐藤智准教授
- 講義／生物の多様性を考える  
～土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用～
- 実験1／土壌微生物を観察する  
～菌根菌の役割～
- 実験2／植物を分析する  
～ポリフェノールの役割～
- 実験3／昆虫を観察する  
～植食者と捕食者との関係～
- なんでも質問コーナー



## 生物の多様性を考える



## 主催：山形大学農学部

● お問い合わせ・お申込み先／山形大学農学部企画広報室  
山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2911 fax.0235-28-2836  
E-mail:nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



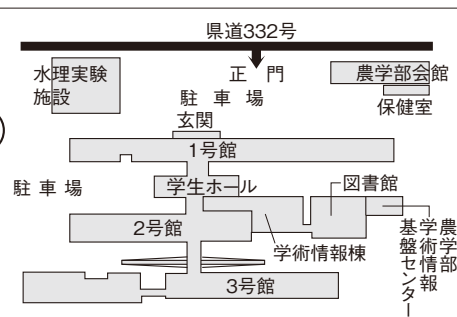
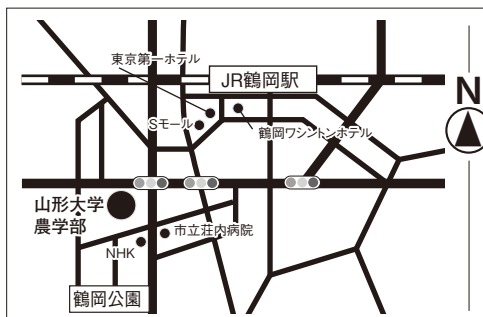
未来博士号が授与される、高校生対象の特別プログラム

# 生物の多様性を考える。

## ●当日のスケジュール

- 8:30～ 9:00 受付(農学部3号館4階401講義室)
- 9:00～ 9:10 開講式(あいさつ・オリエンテーション・科研費の説明)
- 9:10～ 9:40 講義/生物の多様性を考える  
………土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用
- 9:40～ 9:50 休憩
- 9:50～11:00 実験1/土壌微生物を観察する  
………菌根菌の役割
- 11:00～11:10 休憩
- 11:10～12:20 実験2/植物を分析する  
………ポリフェノールの役割
- 12:20～13:20 昼食(実施担当者・協力学生と参加者の交流会)
- 13:20～14:20 実験3・昆虫を観察するー植食者と捕食者との関係
- 14:20～15:00 クッキータイム・受講生の作文発表
- 15:00～15:15 修了式(未来博士号授与・アンケート記入・記念撮影)
- 15:15 終了、解散

## 土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用



この申し込み用紙に必要事項をご記入の上、ファックスでお申し込みください。

fax:0235-28-2836

## 参加申込書

平成 年 月 日

●お名前(フリガナ)		<input type="checkbox"/> 男性		<input type="checkbox"/> 女性	
●ご住所 〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>					
●TEL ( ) ( ) ( )		●FAX ( ) ( ) ( )		●メールアドレス	
●学校名		●学年 ( ) 学年	●年齢 ( ) 歳	●保護者の同意の有無 <input type="checkbox"/> 同意あり <input type="checkbox"/> 同意なし	
●家族・学校関係者見学(参観)の有無 <input type="checkbox"/> 参観あり <input type="checkbox"/> 参観なし		●参観ありの場合 同伴者氏名		住所	
				年齢 ( ) 歳	
●このプログラムに期待すること					

●ご記入いただいた個人情報については、本事業に関する準備、連絡以外には使用いたしません。●不明な点などがありましたら、下記までご連絡ください。

〈お問い合わせ・お申込み先〉山形大学農学部企画広報室  
 山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2911 fax.0235-28-2836  
 E-mail:nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ひらめき、ときめき、サイエンス

検索

●下記のホームページからお申し込みができます。

<http://www.jsps.go.jp/hirameki>

リサイクル選性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。





地域定住農業者育成 講座

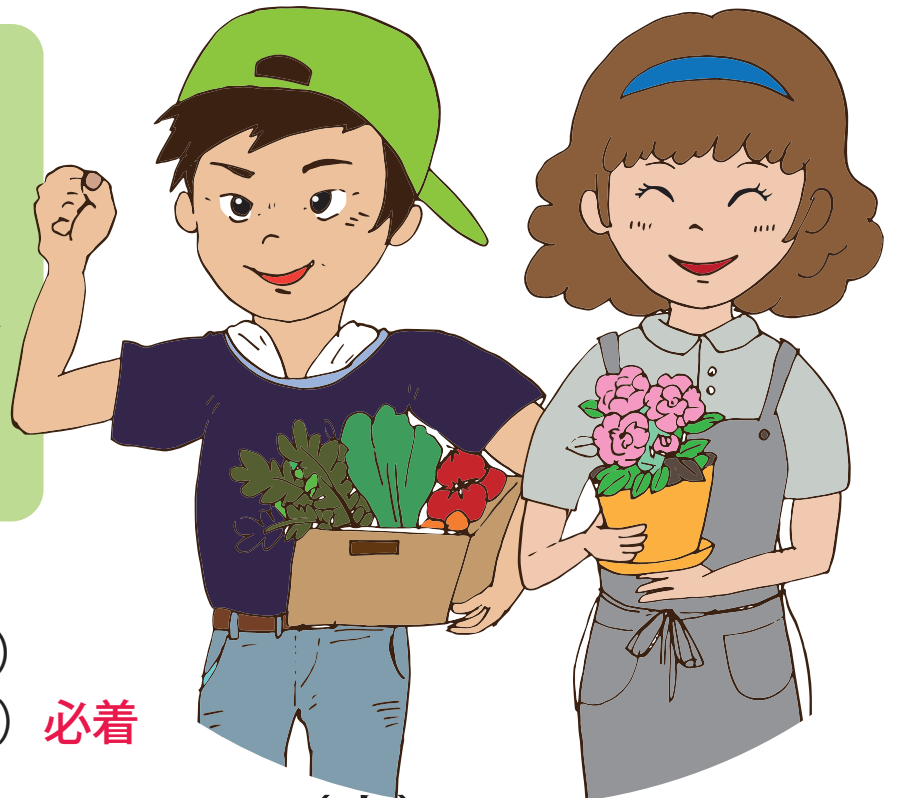
# 食と農の ビジネス塾

参加者  
募集

定員 **30** 名 受講料 **30,000** 円 / 年

対象者 食・農でビジネスを行いたい方、さらにビジネスを発展させたい方  
こうした方々を支援したい方、協力したい方

食と農に関する基礎、  
経営、加工、販売、農業  
技術、ビジネス計画書作  
成の6つの科目について、  
視察、実習 38.5 時間を含  
む 165 時間のコースで学  
びます。



募集期間

平成 28 年 6 月 27 日 (月)

～ 8 月 8 日 (月) **必着**

開講期間 平成 28 年 8 月 17 日 (水)

～平成 29 年度 2 月 13 日 (月)

※応募には提出書類などが必要です。詳しい内容は事務局までお問い合わせください。

地域定住農業者育成コンソーシアム

TEL 070-2011-5615 FAX 0235-28-2944

E-mail : youngf.sp2016@gmail.com

鶴岡市若葉町 1 - 2 3 山形大学農学部内

# 食と農のビジネス塾（2016） 講座スケジュール

日 程	内 容
8月17日(水)	開校式/オリエンテーション/食と農のビジネス～今農業者が目指すもの、求められるもの～
8月19日(金)	スクール参加 私の狙い(ワークショップ)
8月24日(水)	農業の経営戦略/食と農のビジネス 実践者は今
9月1日(木)	ケースメソッド(食と農のビジネス/ケースの解説)/マーケティング
9月8日(木)	ビジネス計画書作成
9月16日(金)	農産物・食品の貿易と輸出ビジネス/販売力強化講座(1)
9月23日(金)	販売力強化講座(2)(3)
9月29,30日 (宿泊研修)	農場(企業)実習【視察研修】
10月7日(金)	ケースメソッド(グループワーク)/庄内の在来作物
10月15,16日	販売実習
10月21日(金)	食と農のブランディング/フードシステム
10月28日(金)	稲作の栽培管理/農産物の保存/販売力強化講座(4)
11月4日(金)	「食産業王国やまがた」実現に向けた取組み/支援策・産業支援機関による支援策とその活用/農村自給圏ースマート・テロワールーを目指して
11月11日(金)	経営設計ー作物の組合せ、労働配分ー/食品加工場開設の実際
11月18日(金)	果樹の栽培管理/野菜の栽培管理/食品加工と衛生管理 ー基礎ー
11月25日(金)	販売力強化講座(5)/食品加工と衛生管理 ー実践ー【視察研修】
2日間	販売実習
12月2日(金)	財務管理の必要性と複式簿記/フード・コミュニケーション・プロジェクト
12月9日(金)	財務管理 ー基礎ー/ビジネス計画書作成(3)
12月15日(木)	財務会計、資金計画の作り方/ホスピタリティ・マネジメントの実際【視察研修】
12月19日(月)	ビジネス計画書中間発表会(意見交換会)
1月13日(金)	財務管理 ー実践ー/やまがた食と農のビジネスの戦略的販路開拓
1月20日(金)	ICT活用による販売戦略/ビジネス計画書作成(4)
1月27日(金)	畜産の実態/物質・エネルギー利用型地域資源利用論/ビジネス計画書作成(5)
2月3日(金)	ビジネス計画書発表会
2月13日(月)	農地情報と市町村支援策/ビジネス計画書優秀者報告会/修了式

## 予定講師陣

小沢互/門間敏幸/角田毅/山形県農業法人協会/尾形恵子/JETRO/江頭宏昌/相馬佳苗/藤科智海/  
西澤隆/村山秀樹/山形県/松尾雅彦/野田博行/平智/藤井弘志/家串哲生/農林水産省/日本政策金融公  
庫/浦川修司/渡辺昌規 他(敬称略)

※応募には提出書類などが必要です。詳しい内容は事務局までお問い合わせください。

平成28年7月19日  
山形大学

## 山形大学附属博物館・最上義光歴史館連携展

### 「山形の記憶」を開催しています。

山形大学附属博物館が所蔵する資料を最上義光歴史館で公開しています。本展は制作・展示を博物館実習生が担当しており、これまで学んできたことをもとにして、貴重な資料の新たな魅力を引き出す展示を試みています。

最上義光歴史館で連携展「山形の記憶」を開催しています。本展は博物館実習の一環として平成26年度より始まりました。本年度は、山形に積み重ねられてきた長い歴史を振り返ることをテーマに、人類が登場する以前の「鳥類の足跡化石」や「紅花染織着物」などつい最近の暮らしを物語る資料を紹介しています。

資料の選定から制作を博物館実習生が担当しており、展示を通して学生たちの学びの成果もみることができます。

8月7日(日)には実習生によるギャラリートーク(展示解説会)を行います。皆様のご来館をお待ちしております。

#### 【実施概要】

主催 山形大学附属博物館 公益財団法人山形市文化振興事業団

共催 山形市

会場 最上義光歴史館（山形市大手町1-53（JR山形駅下車、徒歩15分））

期日 平成28年7月9日(土)～平成28年9月11日(日)

開館時間 9時～17時(※入館受付は16時30分)

休館日 毎週月曜日(国民の祝日と重なる場合はその翌日)

入館料 無料

#### (お問合せ先)

山形大学附属博物館

電話 023-628-4930

E-mail: hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



# 山形の記憶



「結髪土偶」(寒河江市石田遺跡)

2016年7月9日(土)～9月11日(日)

山形大学附属博物館



最上義光歴史館

連携展

【開館時間】 9:00～17:00 [入館受付は16:30]

【休館日】 毎週月曜日 国民の祝日と重なる場合はその翌日

【入館料】 無料

【会場】 最上義光歴史館

〒990-0046 山形市大手町1-53 (JR山形駅下車 徒歩15分)  
TEL.023-625-7101 / FAX.023-625-7102 <http://mogamiyoshiaki.jp>

■主催 / 山形大学附属博物館、公益財団法人山形市文化振興事業団(最上義光歴史館)

■共催 / 山形市

■お問い合わせ / 山形大学附属博物館 受付時間 / 平日9:30～17:00  
〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12 TEL.023-628-4930 (直通) FAX.023-628-4668  
E-mail:hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp <http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/>

## ギャラリートーク(展示解説会)

- ・日時 8月7日(日) 13:30～
- ・内容 山形大学の学生による展示解説
- ・会場 最上義光歴史館展示室内

※聴講無料 / 予約不要

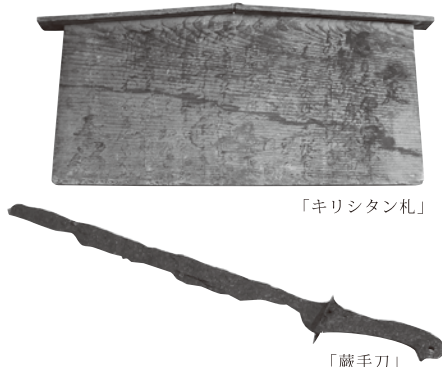


山形大学附属博物館・最上義光歴史館連携展

# 山形の記憶



「三島県令道路改修記念画帖」



「キリシタン札」

「蔵手刀」



「紅花染織着物」

「船筆筥」

平成26・27年度に引き続き、山形大学附属博物館が所蔵する資料を最上義光歴史館で公開する特別展です。博物館実習を履修する学生がこれまで学んできたことをもとにして、附属博物館が長年収集し保管してきた貴重な資料の新たな魅力を引き出す展示を試みます。

本年度は、山形に積み重ねられてきた長い歴史を振り返ることとしました。山形大学附属博物館には、人類が登場する以前から、つい最近の暮らしを物語る道具まで、豊富な資料があります。それらのなかから、ぜひ皆様にご覧いただきたい資料を取り上げました。

それぞれの時代、携わった人々に共に想いを馳せる機会となれば幸いです。

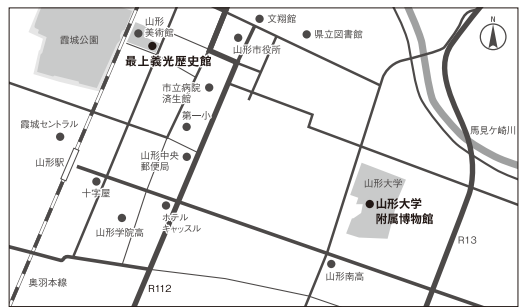
山形大学附属博物館

## 展示資料一覧

No.	資料名	時代	備考
1	鳥類の足跡化石	新生代第三紀鮮新世	新庄市二ツ屋
2	蔵王山の火山弾		蔵王山馬の背
3	注口土器	縄文時代中期	大蔵村白須賀遺跡
4	結髪土偶	縄文時代晩期	寒河江市石田遺跡
5	蔵手刀	古墳時代	寒河江市箕輪
6	直江状(写)		
7	キリシタン札	江戸時代	
8	船筆筥	江戸時代	
9	三島県令道路改修記念画帖	明治18年(1885)	
10	紅花染織着物	昭和60年(1985)	

※作品番号は陳列の順序と必ずしも一致しません。

## 周辺MAP



最上義光歴史館

山形市大手町1-53  
tel.023-625-7101

山形大学附属博物館

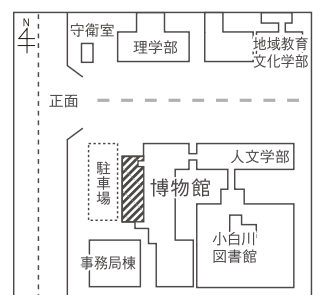
山形市小白川町1-4-12  
tel.023-628-4930

## 山形大学附属博物館のご案内

- 【開館時間】 9:30～17:00
- 【休館日】 土曜・日曜・祝日(他臨時休館あり)
- 【入館料】 無料

山形美術館・山形大学附属博物館コラボ企画展  
「毒地社のいた時代」開催中(9月9日まで)

<http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/>  
E-mail :hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



平成28年7月19日  
山形大学

## 「山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラム」 短期受入れ研修を実施します

平成27年度に文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に採択された『山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラム』では、ペルー、ボリビア、チリの主要大学と山形大学、米沢栄養大学、鶴岡工業高等専門学校との間で、人材育成プログラムを実施しています。

この度、7月25日（月）～8月7日（日）にかけて、ペルー、ボリビア、チリから計12人の留学生を受け入れ、短期研修を実施します。

### 1. 山形・アンデス諸国ダブルトライアングル・プログラムの概要

アンデス諸国3カ国（ペルー、ボリビア、チリ）の主要6大学と、県内の教育機関（山形大学、米沢栄養大学、鶴岡工業高等専門学校）との間で、学生の交流を深めながら事業を展開します。両地域で求められる各種開発に関連する国際プロジェクトの推進に貢献できる有能な人材、日本と中南米諸国との間でブリッジになりうる国際人材の輩出を目指します。

(1) 山形県内 3つの教育機関（山形大学、米沢栄養大学、鶴岡工業高等専門学校）

(2) アンデス諸国

①ペルー 4大学 教皇庁立ペルー・カトリカ大学、国立工科大学、国立サン・マルコス大学、ラ・モリーナ国立農業大学

②ボリビア 1大学 国立サン・アンドレス大学

③チリ 1大学 国立タルカ大学

(3) 短期・長期交換留学（日本人学生とアンデス諸国の学生の相互交流）等

### 2. 今回の研修について

〈概要〉

主に山形県内で研修を行い、日本の工業技術、産業開発、環境保全、社会福祉、歴史・文化などについて学習します。日本人学生と共同で取り組む研修プログラムなどを通じて、両国間の学生がお互いについての理解を深めます。また国際理解を促進し、プログラムが目標とする人材育成を行います。

〈参加学生〉

今回の短期受入れプログラムの参加者内訳は以下の通りです。

ペルー : 教皇庁立ペルー・カトリカ大学、5名

ボリビア : 国立サン・アンドレス大学、3名

チリ : 国立タルカ大学、4名

※スケジュールの詳細は裏面をご覧ください。

(お問合せ先)

学術研究院 准教授 土井正樹、准教授 綾部誠、

DTPコーディネーター 千原聡

(ダブル・トライアングル・プログラム推進本部)

電話 023-628-4779

e-mail honbu-dtp@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.yamagata-u.ac.jp/dtp/>



## 「山形・アンデス諸国ダブルライアングル・プログラム」短期受入れ研修

日程	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	7月28日	7月29日	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
		米沢研修				鶴岡研修				小白川研修				東京研修			
午前	各国より成田空港に到着	成田市→米沢市に移動	開校式・オリエンテーション、講義「山形大学の紹介」、研究室訪問	高齢者施設における研修	INOELおよびスマートハウスにおける研修	米沢市→鶴岡市に移動	鶴岡工業高等学校における研修	農学部演習林における研修	農学部演習林→鶴岡市内に移動	鶴岡市→山形市に移動	講義「日本の経済と社会保障制度」	講義「日本における南米観」	講義「東日本大震災と支援活動」	参加学生による研修成果発表、修了式典	東京都内技術研修	東京→成田空港	各国に向けて日本出国
午後			米沢市内企業研修、日本人学生と留学生の発表会・交流会	重要文化財・上杉博物館における研修	米沢栄養大学における研修・学生交流	鶴岡市クリーンセンター等での研修	鶴岡浄化センター等における研修、日本人学生と留学生の発表会		鶴岡市内における文化研修	学長訪問、大学案内、日本人学生と留学生による発表会・交流会	山形県産業科学館等における研修	寒河江市内企業研修	ワークショップ	山形市→東京	東京都内文化研修	研修のまとめ	

※ 上記は予定であり、事情により一部変更をする可能性があります。